



先月は大雪が降ったものの全体的に暖かい冬ですね。インフルエンザにかかるお子さんもなく安心していましたが、月末から発熱、嘔吐に続きインフルエンザでお休みするお子さんがいます。保育園でも流行の兆しが出てきました。どうぞ、ご注意ください。



## ひきつけ (ケイレン)

子どもが突然からだを硬直させ、白目をむいてガタガタ震え出し、呼びかけにも答えない…。初めて「ひきつけ」を目にすると気が動転してしまい「このまま死んでしまうのでは…」とオロオロしてしまうものです。

ひきつけを目撃した時は、まず落ち着いてよく観察することが大切です。

ひきつけは色々な原因で起こります。高い熱が出ると同時にひきつける『熱性ケイレン』は、0～3歳のお子さんによくみられます。(熱の出る病気なら、ひきつけを起こす可能性があります)

短くて1～2分、長くて20分以内に治まり、すぐ意識が回復し全身状態もよいのが普通です。熱が原因ですから1度だけで終わる子もいれば、熱の度に繰り返す子もいます。しかし、大きくなるにつれ回数は減り、小学校へ入るころにはほとんど見られなくなります。

ひきつけで死亡することはまずありません。脳への後遺症を心配する方もいらっしゃいますが、ほとんどのケースで問題はないそうです。



### ひきつけを起こしたら

- 横に寝かせ、衣類を緩める
- 顔を横に向ける (吐くことがあるため)
- 観察する (目の動き、手足の震えなど)
- 時間を計る
- ケイレンが治ったら、熱を測り意識を確認する
- そのまま静かに寝かせる (無理に起こさない)
- 落ち着いたら、かかりつけの病院へ行く

インフルエンザに罹ると高熱が出ます。熱の上がり始めにひきつけを起こす子が多いようです。ご注意ください。

### こんな時はすぐ病院へ行きましょう！

- 5分以上続くとき
- 治まった後、意識がはっきりしないとき
- 短時間に何回も繰り返すとき
- 激しい嘔吐や下痢のとき (脱水が原因によるとき)



### 園医の一言

今週に入りインフルエンザで受診するお子さんが増えてきました。インフルエンザは感染力が強くとくに広がっていきます。近くに罹った方いる場合は特に注意が必要です。

1月27日付

